

## 情報処理演習II

No. 4

2023.10.03

芝浦工業大学 システム理工学部 機械制御システム学科

担当:桑原

## (補足) scanf関数による複数データの取得

ポイント: scanf関数で二つのデータをキーボードから受付け, double型変数 x, yにそれぞれ格納する方法

# (方法1) printf("xの値を入力して下さい"); scanf("%lf", &x); printf("yの値を入力して下さい"); scanf("%lf", &y);

同じ処理を2回 繰返す方法

1度で済ませる方法だが, データの区切り方法を明示する必要あり

## (方法2)

```
printf("x, yの値を, カンマで区切って入力して下さい"); scanf("%lf,%lf", &x, &y);
```

または

カンマのみ(空白等を前後に入れない)

```
printf("x, yの値を, スペースで区切って入力して下さい"); scanf("%lf %lf", &x, &y);
```

半角スペースのみ

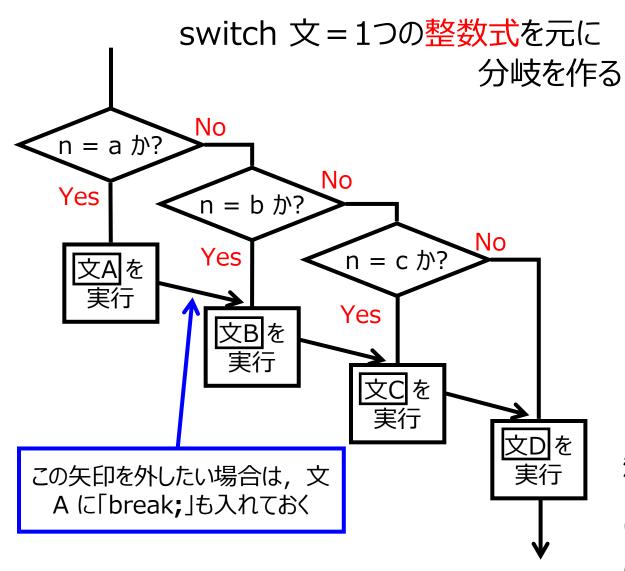
情報処理演習II

## 論理演算子(復習)

サンプルプログラム 4.1

```
#include <stdio.h>
main()
    int i, j;
    i=0;
    j=1;
    printf("式の値は %d. ¥n", i==j);
    printf("式の値は %d. ¥n", i!=j);
    printf("式の値は %d. ¥n", j>=i);
    printf("式の値は %d. ¥n", i>0 && j>0);
    printf("式の値は %d. ¥n", i>0 || j>0);
```

## switch 文



```
switch( n ) {
case a:
    文A ;
case b:
    文B ;
case c:
    文C ;
default:
    文D ;
```

### 注意:

- (1) a,b,c は<mark>整数</mark>
- (2) n の部分は式の値が整数になれば式を書いてもOK

· 情報処理演習II

## サンプルプログラム 各自、サンプルプログラム4.2を実行・確認をしてください。

サンプルプログラム 4.2

キー変数(判断を分ける変数)

```
#include <stdio.h>
main()
  int n;
   printf("Menu¥n");
   printf("1. spring \u2247n");
   printf("2. summer \u20e4n");
   printf("3. fall \u2247");
   printf("4. winter \u2204n");
  scanf("%d", &n);
```

```
switch ((n)){
case 1:
   printf("March, April, May\u00e4n");
   break;
case 2:
   printf("June, July, August\u00e4n");
   break;
          (中略)
default:
   printf("error!\u00e4n");
```

注意: break を実行すると、(入れ子になっている場合は一番内側の) switch 文から抜ける。default文も実行されない。

情報処理演習II